

- 1 学 年 6 学年
- 2 単 元 算数科「対称な図形」
- 3 実践内容

小規模校の特性を生かした学習指導～「学ぶ楽しさを実感する子の育成」～

【「ジグソー学習」を用いた学習指導】

3人組×4グループを作り、ジグソー学習を行った。少人数を生かしてグループを作り、学び合うことで、子供たちが課題を「自分事」として捉え、意欲的に学ぶ姿勢が見られた。

課題 点対称な図形は、くると180度回すとぴったり重なる以外に、どんな性質があるだろうか。

○エキスパート活動・・・「定規を使って調べる」「分度器を使って調べる」「対角線を引いて調べる」の3つのグループに分かれ、問題を解く。

○ジグソー活動・・・違う方法で解いた友達同士集まり、自分の考えを伝え合う。

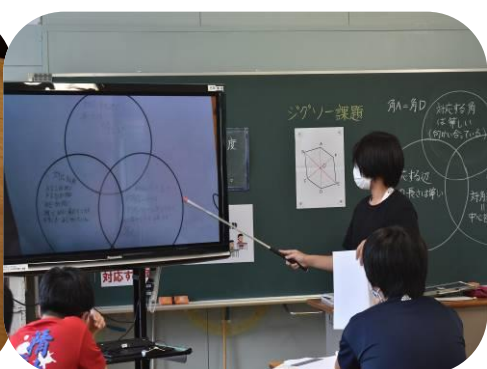
○クロストーク・・・ジグソー班で出た意見を交流し合う。別の考え、方法はないかと全体で考える場とする。



【エキスパート活動】



【ジグソー課題】



【クロストーク】

4 成果と課題

- ジグソー学習を用いることで、学習の流れを教師も子供もつかんでいて、見通しをもつことができた。そのため、自分事として学ぶ姿が見られた。
- グループ学習では、上位層の子供を各グループに一人ずつ配置することで、まとめ役とした。その結果、下位層の子供も、話し合いに参加することができた。
 - ・ 子供たちは、ジグソー活動でたくさんの知識を得ることができたが、クロストークで生かせなかった。クロストークでの深め方を考えたい。
 - ・ 少人数でも、グループ活動が主になると、一人一人の見取りが難しかった。また、グループでの話し合いのたたせ方を考えたい。(聞きたい、話したいとなる場作り)